

3 類型	鉱工業品	通巻番号	5-23-002
地域資源名	岩絵具（岩絵の具）	認定日	平成23年9月30日
地 域	京都府京都市、宇治市	所管省庁	経済産業省

事業名：環境問題に適合し、耐候性・安全性・加飾特性・コスト面に優れた無鉛岩絵具の新色開発・生産・販売

会社名：ナカガワ胡粉絵具株式会社
 連絡先：TEL：0774-23-2266
 FAX：0774-20-4666

所在地：京都府宇治市宇治乙方68番地

事業概要（新たな活用の視点）

- ・近年、世界的に鉛汚染による環境問題が大きく論じられる中、天然岩絵具及び人工岩絵具（いずれも有鉛）に代わる無鉛岩絵具（8種類、10階色、計80色）の開発・製品化に成功し、併せて特許を取得。
- ・今後は30種類、10階色、計300色を目標に無鉛岩絵具の開発・製品化を進めることとする。

売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

◆競争力

- ・無鉛岩絵具は、鉛による環境汚染を防止するだけでなく、安全面に優れ、濃色化も可能で、従来岩絵具では不可能であった新色の開発・生産が可能となっており、岩絵具を製造・使用する人の安全性・安心感を確保できる。また、天然岩絵具や人工岩絵具と比べて安価であることや、硫化水素ガス等の環境汚染ガスによる退色も見られないなど、堅牢性の点からも従来有鉛岩絵具に比して優位性がある。

◆市場性

- ・日本画のみならず、寺社建築物を含めた文化財保護のために使用される。特に外部色彩において、環境に配慮した無鉛岩絵具への移行が期待できる。
- ・海外市場、特に欧米諸国においては、従来は環境規制のため輸出ができなかったが、無鉛岩絵具については可能なため、販路拡大が見込まれる。また、中国においては、近年、岩絵具を使用した重彩画と呼ばれる絵画が発展しており、従来岩絵具より安価な無鉛岩絵具は受け入れられやすいと考えられ、需要の拡大が今後見込まれる。

◆販路

- ・国内市場においては、既存の販売ルートである専門小売店に直接販売する。海外市場においては、販売代理店を通じて販売を計画している。

地域資源における関係事業者との連携

- ・共同特許保持機関である京都府中小企業技術センター及び京都産業21と連携して、今後の新色開発、試験分析、製品評価、市場開拓等を行う。

【無鉛岩絵具】

